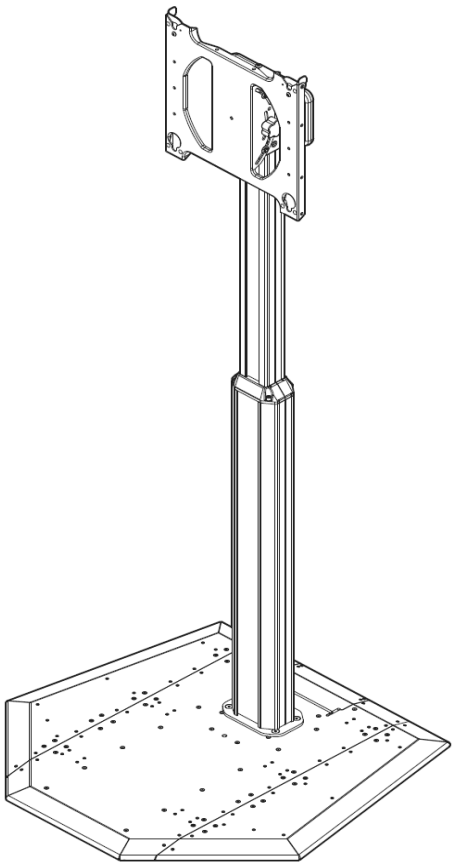
取扱説明書

CHIEF

フラットベースタイプディスプレイスタンド

型番　PRSU



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- 高さ調整をする場合は、ディスプレイを取り外した状態で行ってください。
- 作業は必ず２名以上で行ってください。
- 不注意や誤った取扱いをすると、人が死亡または重大な事故につながることがあります。
- 大地震など想定外の要因により、万一転倒しても、人的被害が発生しない場所に設置してご使用ください。
- 地震発生の際には、すみやかに本製品から離れてください。

安全上のご注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
警告：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

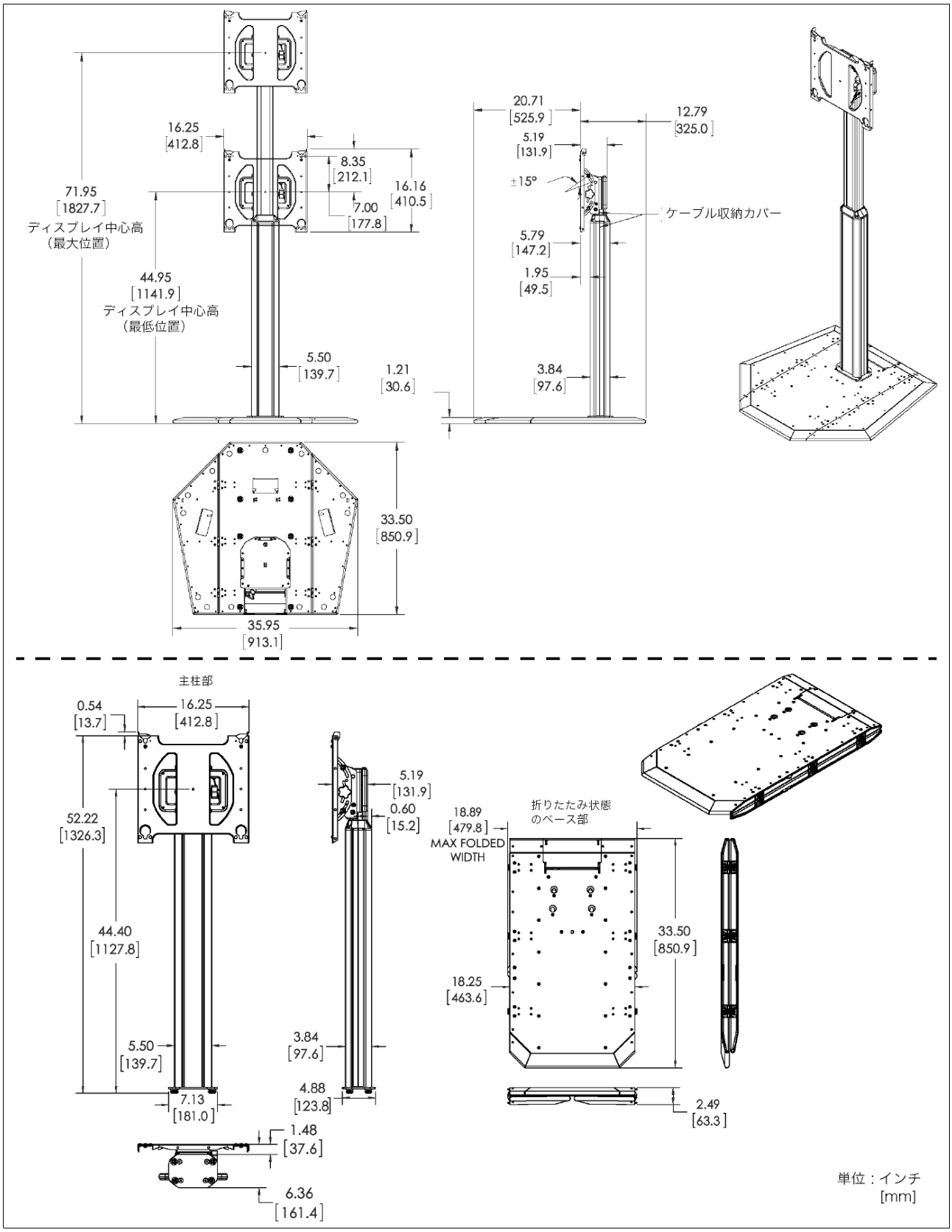
設　置　の　前　に

■設置場所について

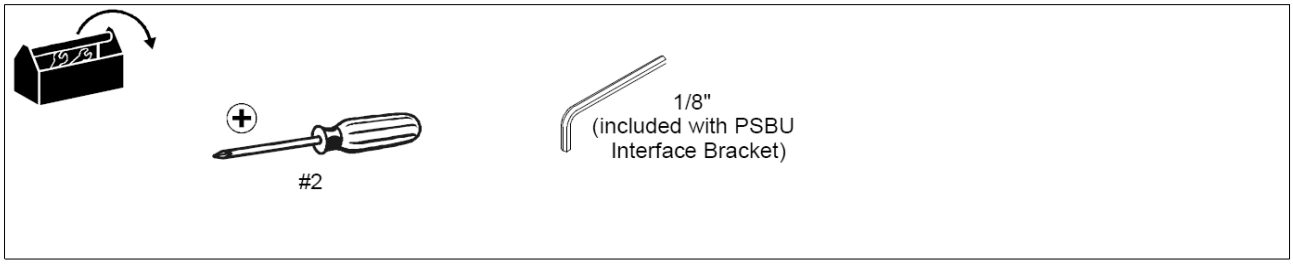
- 本製品とディスプレイを設置する場所は、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる場所に設置してください。
- 設置の前に、ディスプレイを含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、耐荷重の範囲を超えないようにしてください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が転倒して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

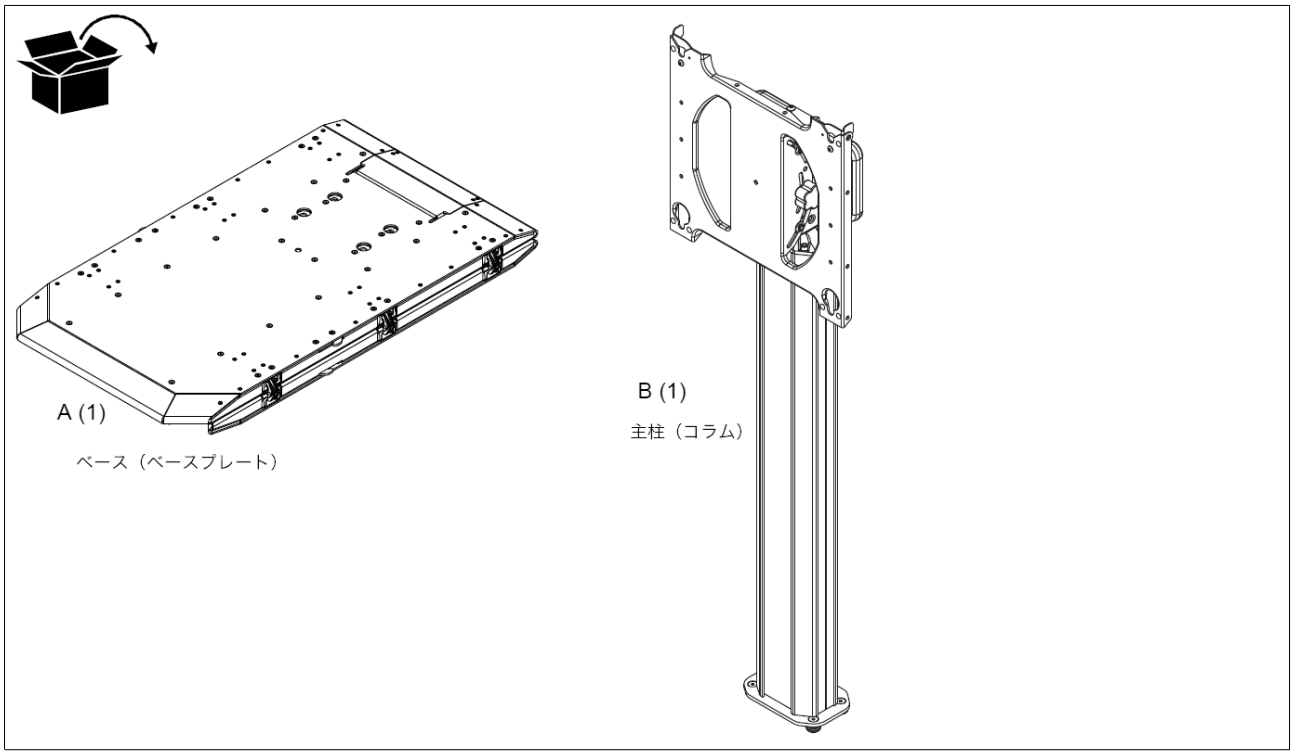
■各寸法図


16.25
[412.8]
8.35
[212.1]
16.16
[410.5]
7.00
[177.8]
71.95
[1827.7]
ディスプレイ中心高
（最大位置）
44.95
[1141.9]
ディスプレイ中心高
（最低位置）
5.50
[139.7]
1.21
[30.6]
20.71
[525.9]
12.79
[325.0]
5.19
[131.9]
±15°
ケーブル収納カバー
5.79
[147.2]
1.95
[49.5]
3.84
[97.6]
33.50
[850.9]
35.95
[913.1]
主柱部
0.54
[13.7]
16.25
[412.8]
52.22
[1326.3]
44.40
[1127.8]
5.50
[139.7]
7.13
[181.0]
1.48
[37.6]
6.36
[161.4]
5.19
[131.9]
0.60
[15.2]
3.84
[97.6]
4.88
[123.8]
18.89
[479.8]
MAX FOLDED
WIDTH
折りたたみ状態
のベース部
33.50
[850.9]
18.25
[463.6]
2.49
[63.3]
単位：インチ
[mm]

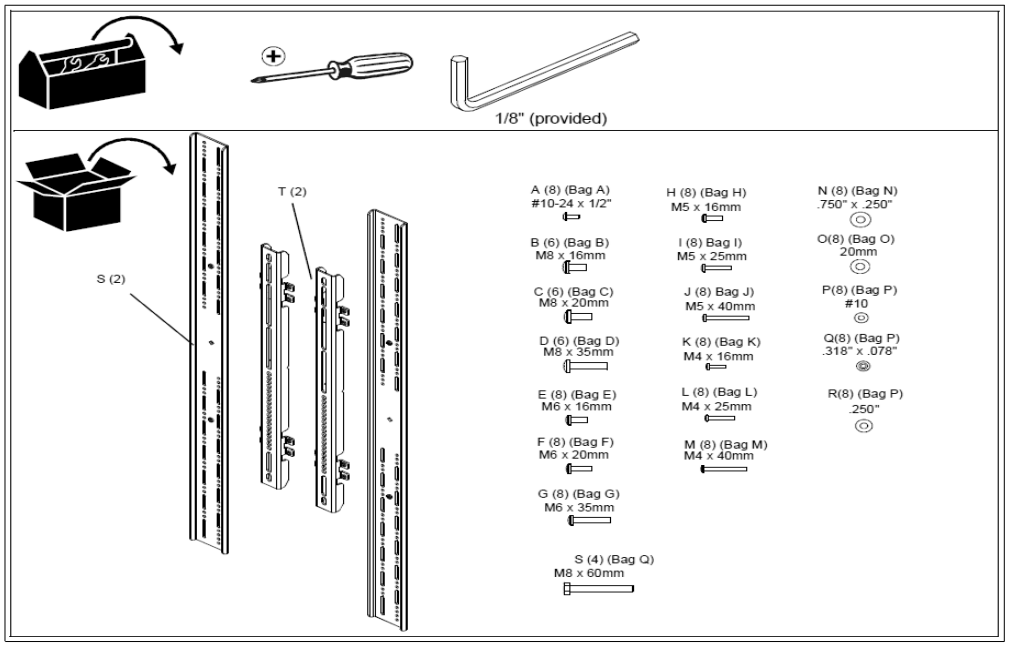
■本体の組み立てに最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



付属ブラケット（PSBU）



■組み立て手順

1.本製品の設置位置が決まったら、ベース（A）を両端がたたんである側を上にして床に置きます。

2.ベース（A）の両サイドを開きます。このときヒンジなどに指を挟まないように注意してください。

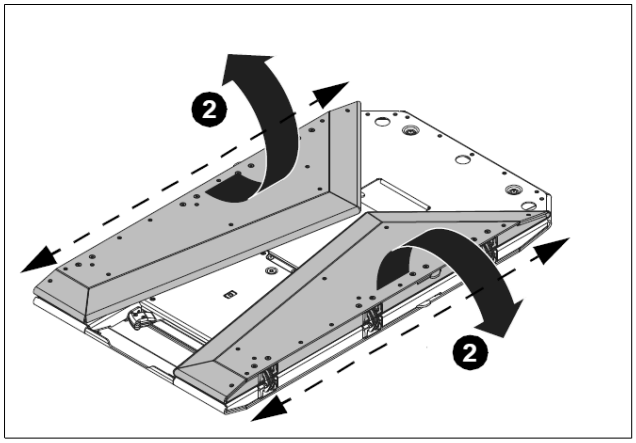


図１

3.ベースの両端が開いたら、（3）の部分にあるレバーを倒してロックしてください。

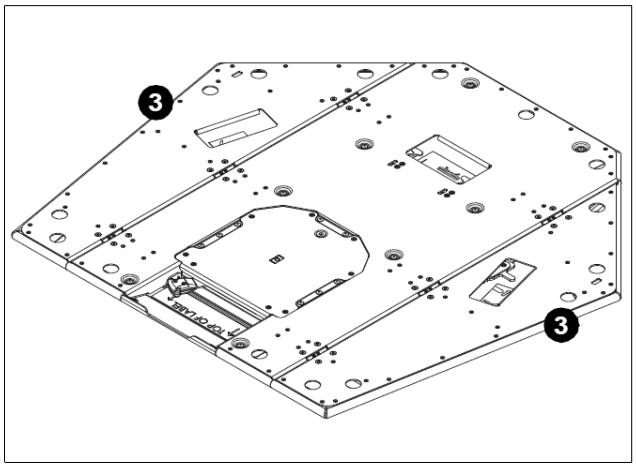


図２

4.ベース（A）を床に置いて（このとき、天面を上にして）、ベース（A）の中央後部にあるカバーを引き上げてください。（図３を参照してください）

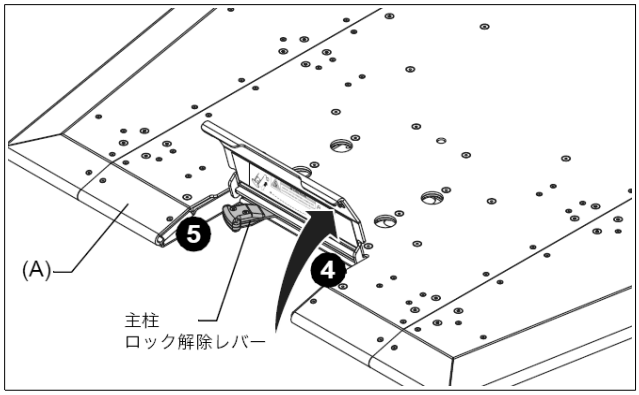


図３

注意　本製品の移動や持ち運びの際に、本体柱にある高さ調整ハンドルのグリップを持って動かさないでください。

高さ調整ハンドルは柱の高さを調整する際においてのみ、使用してください。

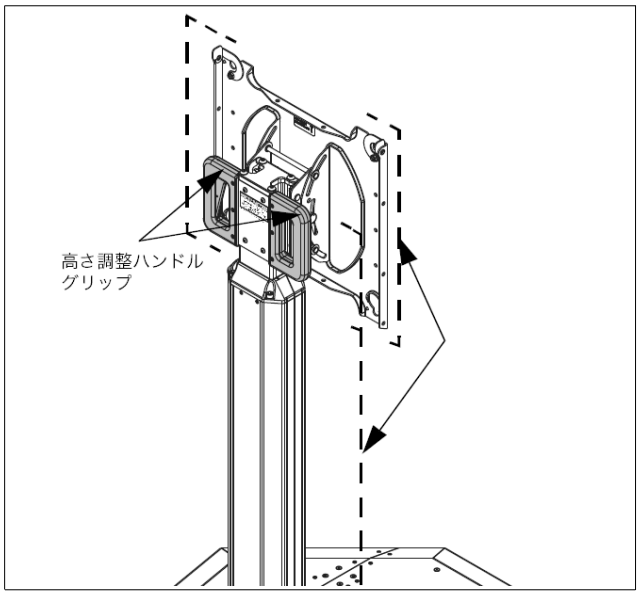


図４

■柱のベースへの取り付け

6. 前面プレートがベースの前面を向くように、ベースに取り付け穴がある列を合わせ、所定の位置に下ろします。（図 5）

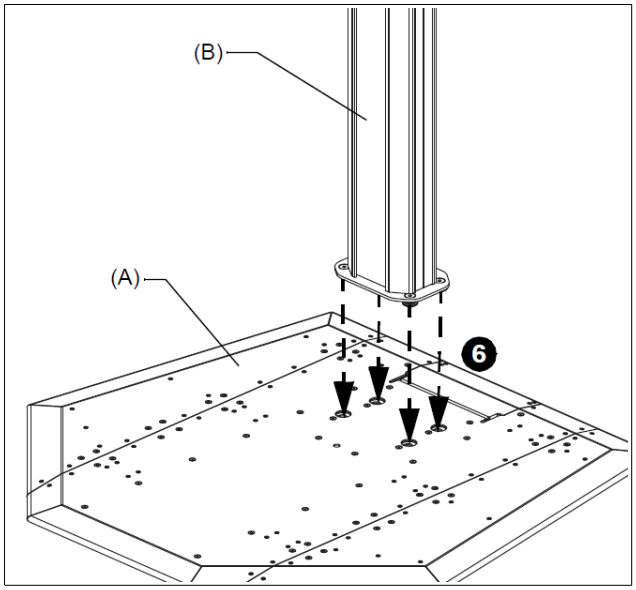


図 5

7.（図 6）の図のようにラッチハンドルを引き出します。

8. 開口部の右端に収まるまでハンドルを右に動かしてください。

9. ハンドルがベース（A）に引き込まれてコラム（B）が所定の位置にロックされていることを確認します。

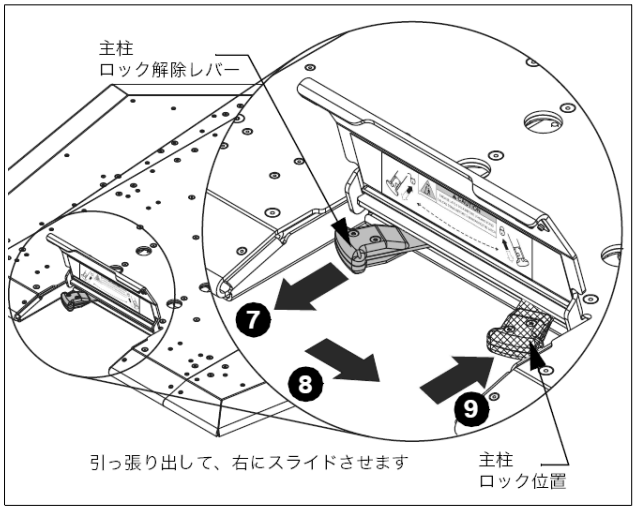


図 6

■柱の高さを希望の高さに調整する

1.両方のハンドルをしっかりと持ち、内側のハンドルを握りながら引っ張り、持ち上げて柱の高さを調整してください。

2.必要に応じて柱の高さを上下に調整してください。

3.柱を最も希望に近い高さになるように移動して、内側のハンドルを離しますと柱の高さが希望の位置に固定できます。

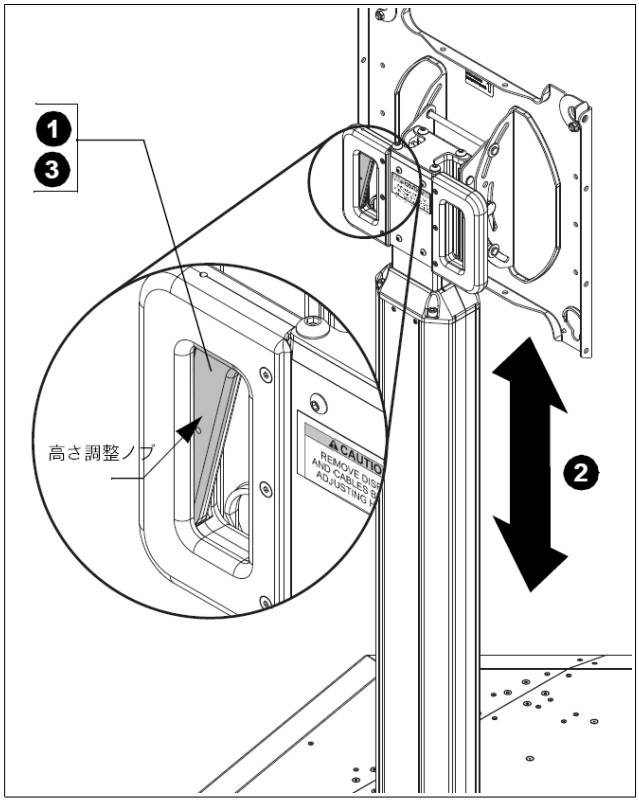


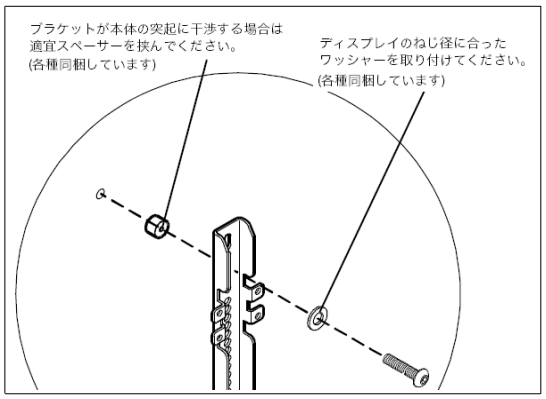
図 7

4.ディスプレイをスタンドに取り付けるには同梱の PSBU インターフェイスブラケットを使用します。

■ブラケットをディスプレイに取り付ける

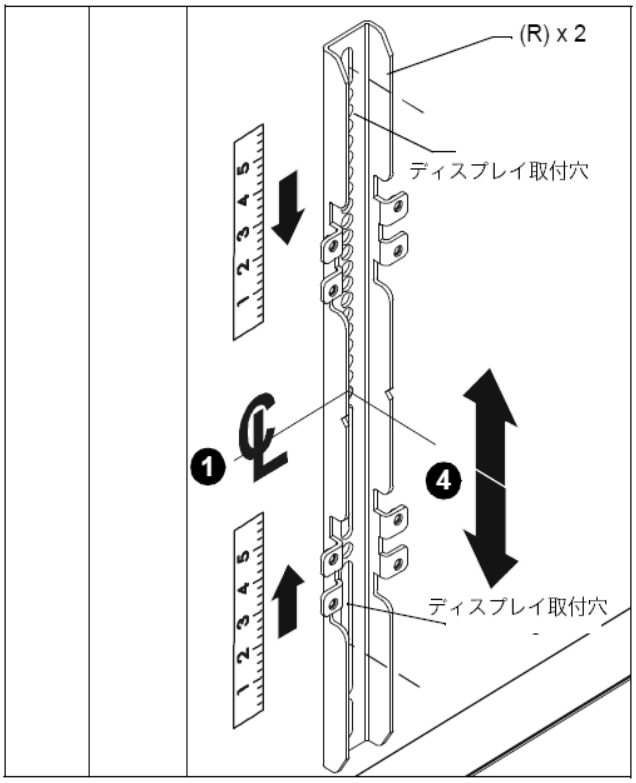
ブラケットの組み立て方
本製品にはPSBU型ユニバーサルディスプレイブラケットが付属しています。

PSBUは、最大800×500mmの取り付けピッチをもつディスプレイを取り付けることができ、取り付けには、ディスプレイ側にこのPSBUを取り付けてからセットする手順になります。
多くの種類のディスプレイに対応できるように、取り付けネジや、ディスプレイの背面形状にあわせられるよう下図のようなスペーサーなども付属しています。



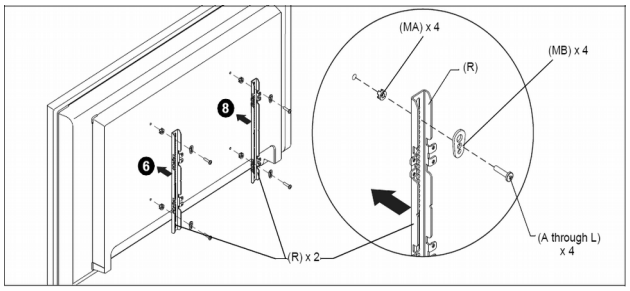
PSBU 図1

ディスプレイにブラケットを取り付ける際には、毛布などを敷いてディスプレイを傷つけないようにしてください。



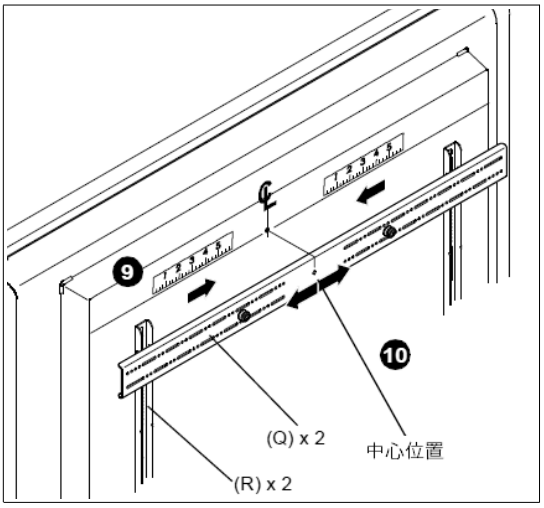
PSBU 図2

【図-16】のように、PSBUの(R)のバーをディスプレイ背面にあてがい、ディスプレイのセンターが(1)のセンターと合致する位置に当てがってください。



PSBU　図3

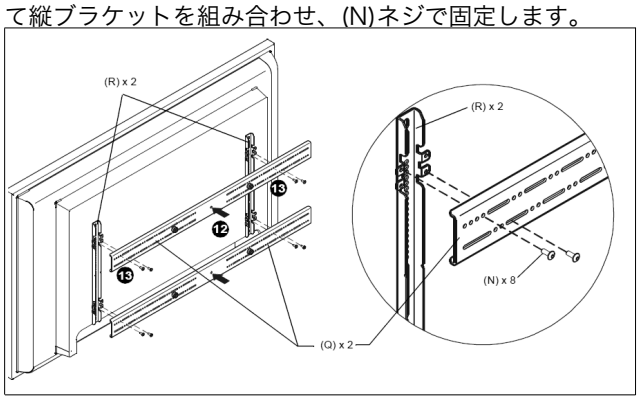
位置決めが決まったら、【PSBU 図3】のようにディスプレイと縦ブラケットを付属のネジで固定します。
ディスプレイの背面形状や取り付けネジ穴の深さはさまざまですので、付属のワッシャーやスペーサーを組み合わせて、緩まないようにしっかりと固定してください。



PSBU 図4

ディスプレイに縦ブラケットが取り付けられたら、図4のように横ブラケットを取り付けてください。

横ブラケットはディスプレイ中心位置にあわせるようにして縦ブラケットを組み合わせ、(N)ネジで固定します。



PSBU 図5

■ディスプレイをスタンドに取り付ける

警告：最大荷重を超えてスタンドに取り付けることは、人身事故や機器の損傷につながる恐れがあります。

設置業者の責任において、スタンドにセットする総重量が製品の耐荷重 90.7kg を超えないようにしてください。

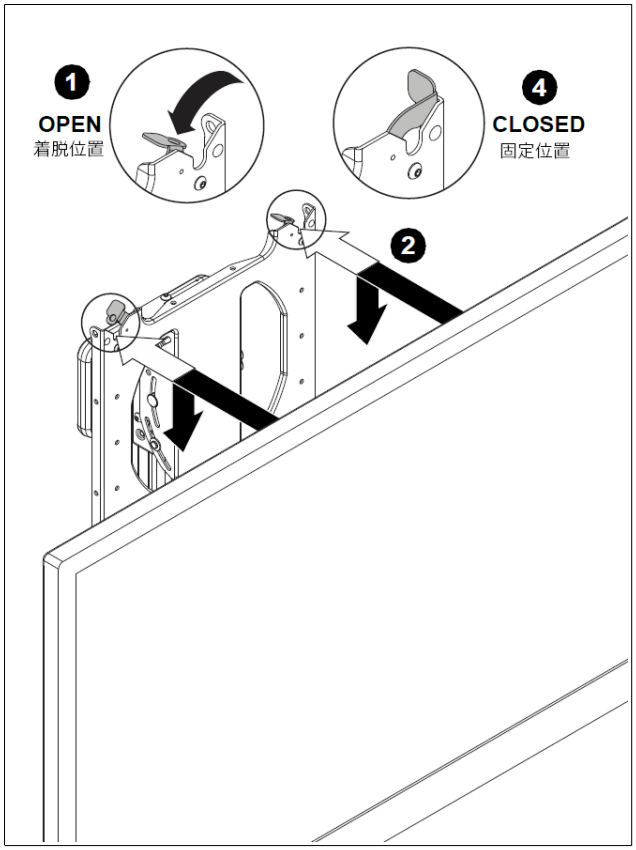


図 8

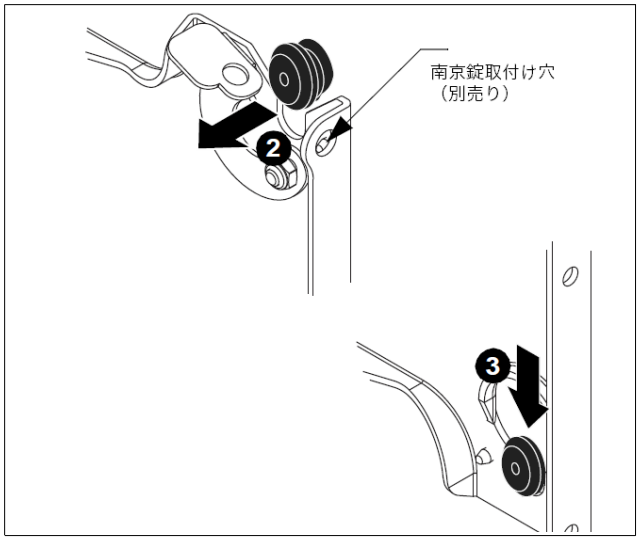


図 9

警告：誤った取り付けは、装置への重大な人身傷害または損傷を引き起こして、停電または発火を引き起こす可能性があります。

必要に応じて、南京錠または同様のロック装置が取り付けられるよう、前面プレートに穴が設けられています。

注意：スタンドの高さを調整する前に必ずディスプレイを取り外してください。

■　スタンドの調整

ディスプレイは鉛直の状態から前方または後方に 15°ずつの傾斜設定が可能です。

1. ヘッドアセンブリの側面にあるノブを反時計回りに回すと、傾斜調整機構が緩み傾斜設定ができるようになります。（図 10）

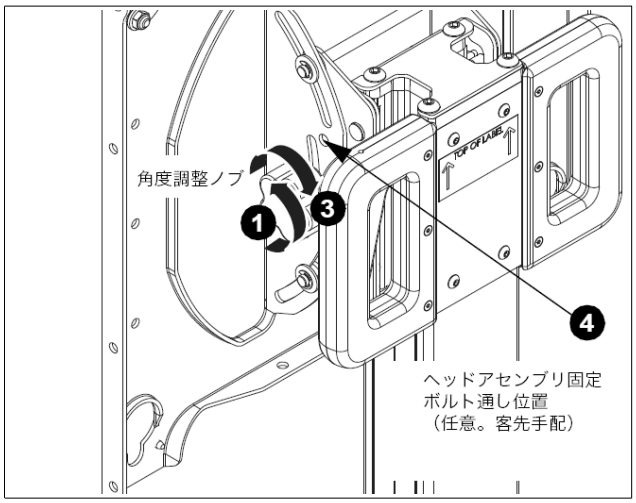


図 10

2. 必要に応じて、前方または後方に最大 15°までディスプレイを傾斜することができます。

3. ノブを時計回りに回してヘッドアセンブリのディスプレイを締めます。

注意：スタンドの損傷を防ぐため、ヘッドアセンブリの側面にあるノブをしっかりと締めてください。

ディスプレイを鉛直の状態で固定されたい場合は、ディスプレイを直立位置にロックするためにヘッドアセンブリ（図 10 参照）にボルト（付属していません）を通すことができます。

■ケーブルマネージメント

ケーブルは、スタンドの側面いずれかのケーブルマネジメントフラップ内を通すことができます。

注意：ケーブルの損傷を防ぐため、ディスプレイを動かす前、およびスタンドを下げる前に、ケーブルマネジメントフラップからケーブルを取り外してください。

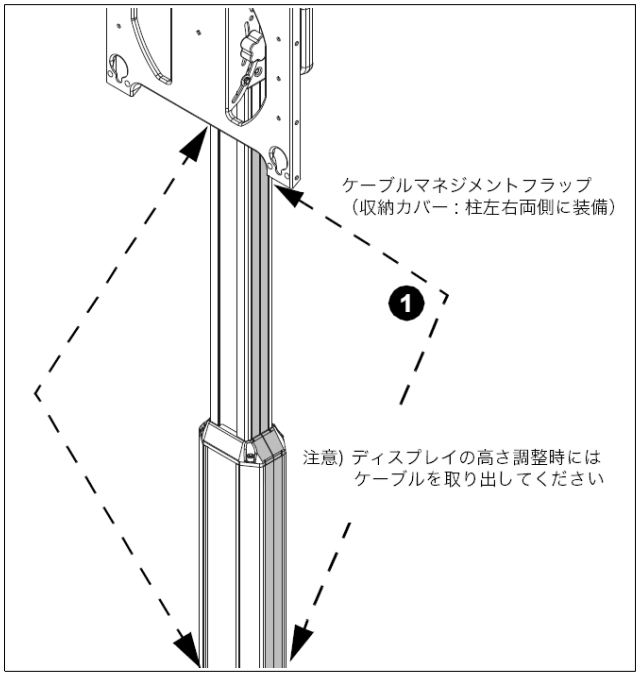


図 11

■スタンドを解体するには
スタンドからディスプレイを取り外す

1.上部の 2 つの取り付け穴のフラグをロックが開放されている位置に回します。（図 12 参照）

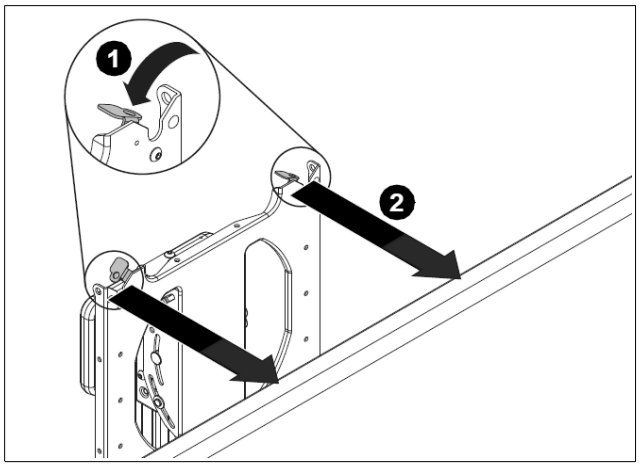


図 12

警告：各ディスプレイは 20kg 以上の重さがある場合があります！ スタンドにディスプレイを取り付け、取り外し、または設置する際は、必ず 2 人で適切に持ち上げて使用してください。

3.柱を収納ポジションまで低くするには、フェースプレートの後ろにある内側のハンドルストッパーを握る際、フェースプレートをわずかに持ち上げるようにしますと、ロックがはずれ、フェースプレートを下げることができます。

4.できるだけ柱の高さを下げてください。

5.柱のロックポジションがある高さの位置で内側のハンドルストッパーを放すと固定されます。

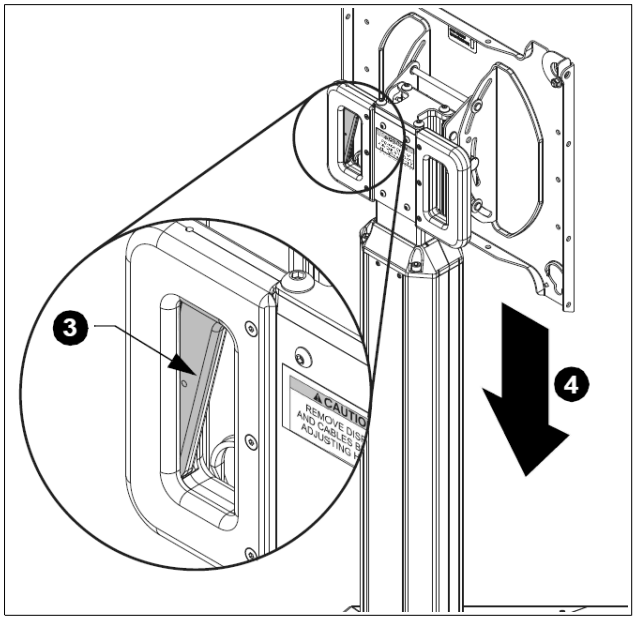


図 13

■ベースから柱を取り外すには
1)ベースの中央部にあるカバーを持ち上げます（図 14）
2) 支柱の固定ラッチハンドルが右側にあることを確認してください。

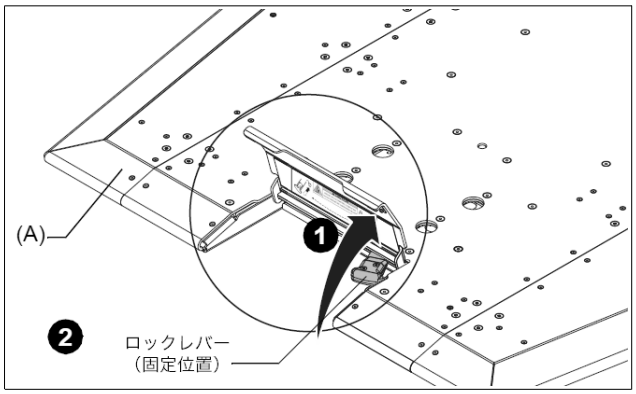


図 14

3) 固定ラッチハンドルを引っ張ります。

4) 固定ハンドルを左側いっぱいまでスライドさせます。

5) ハンドルがベースに格納されるように押し込むと支柱部分のロックが解除されます。【図 15】

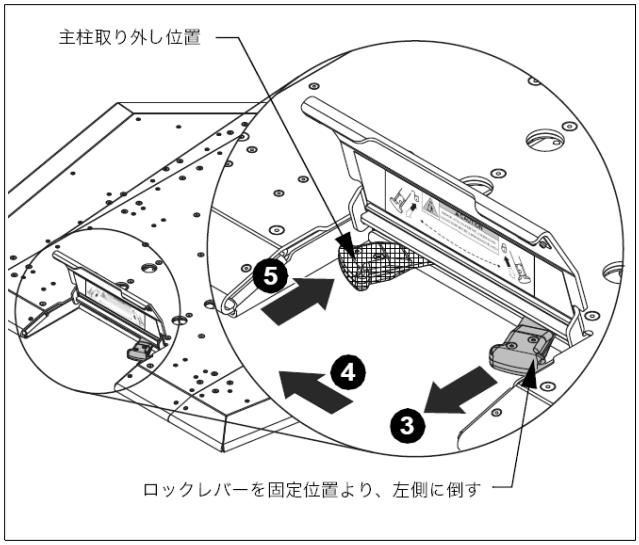


図 15

6) 支柱部分をしっかりと持ち、ベースから引き上げて支柱を取り外してください。

■ベースを収納するために折りたたむには

（図 17）のように両側のフラットロック解除タブを持ち上げ、ベース側面の両側を折り畳める位置まで動かし、ロックを解除します。

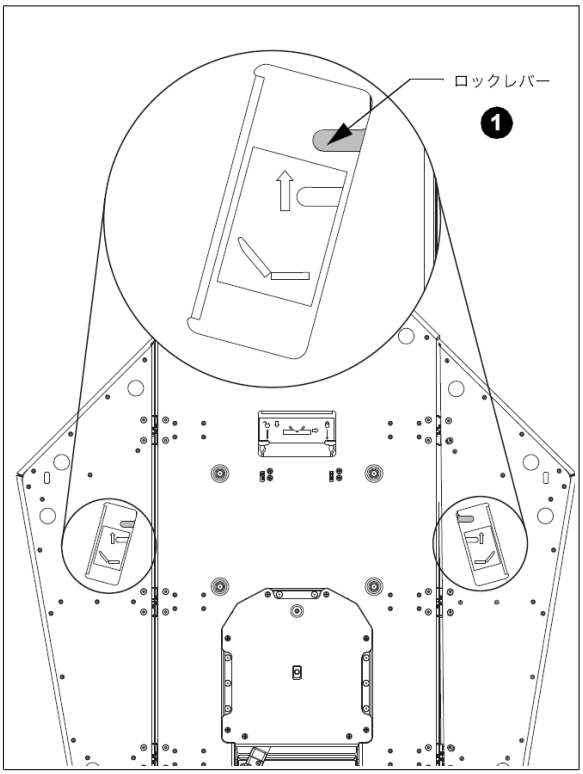


図 16

2) サイドとセンターベースの間に指を挟まないように注意しながら、ベースの両側を折り畳んでください。

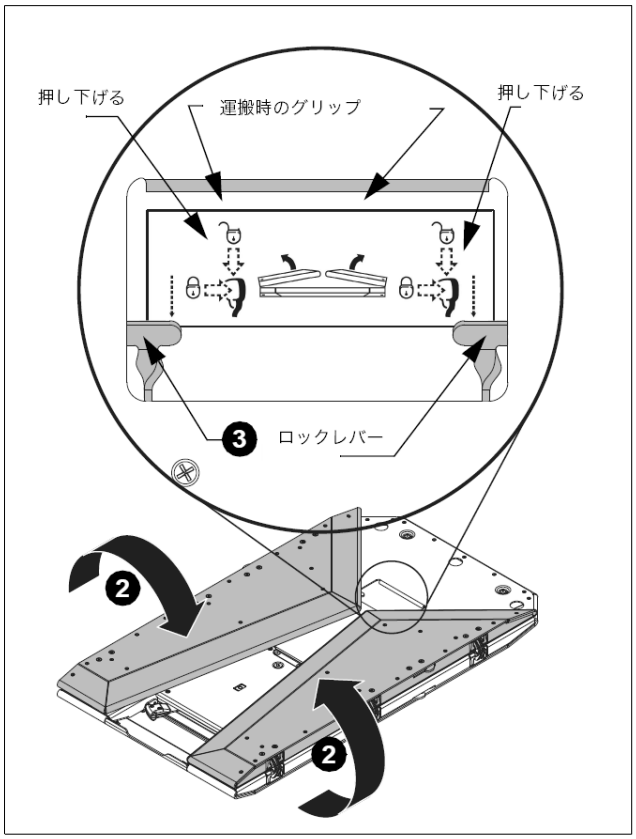


図 17

株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.
■ システム販売事業部
<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関 西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

Copyright (c) 2018 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.